

授業科目	嚥下障害 I (基礎と評価)				
担当者	柴本勇				
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

■ 授業目的・内容

本講義では、摂食嚥下に関わる口腔周囲および頭頸部の解剖、呼吸および神経制御を含む生理学的基盤を学び、嚥下障害を理解する。また、各疾患での病態を理解する。その上で、病態や重症度を評価する方法について理解する。評価では演習にて具体的手技を修得する。

■ 到達目標

1. 正常嚥下に関わる構造を説明できる。
2. 正常嚥下に関する生理学的基盤を説明することができる。
3. 嚥下障害の原因と病態を説明できる。
4. 嚥下障害の評価を説明し、結果を分析できる。
5. 評価を模擬的に実施できる。

■ 授業計画

- 第1回 ヒトが食べること、動物が食べること (メカニズム)
- 第2回 摂食嚥下に関わる構造
- 第3回 摂食嚥下の発達
- 第4回 摂食嚥下の神経制御機構
- 第5回 摂食嚥下障害の原因疾患と病態
- 第6回 老化と嚥下障害, 医原性嚥下障害
- 第7回 摂食嚥下の評価理論
- 第8回 摂食嚥下障害の観察評価
- 第9回 摂食嚥下障害のスクリーニング検査
- 第10回 摂食嚥下障害のスクリーニング検査演習
- 第11回 ビデオ嚥下造影検査
- 第12回 ビデオ嚥下造影検査演習
- 第13回 ビデオ嚥下内視鏡検査
- 第14回 ビデオ嚥下内視鏡検査演習
- 第15回 その他の精密検査 (医師が実施する検査)

■ 評価方法

小テスト10%、定期試験40%、実技試験50%

■ 授業時間外の学習 (予習・復習等) について

授業内で小テストを実施し、理解度を確認しながら講義を進めます。演習を行いながら具体的手技を理解します。

一部反転授業を実施します。あらかじめ予習し授業で説明をします。

■ 教科書

書 名：摂食嚥下リハビリテーション 第3版

著者名：才藤栄一、植田耕一郎監修

出版社：医歯薬出版株式会社

■ 参考図書

■ 留意事項

新型コロナウイルス感染症対策や不測の事態（災害等）が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する場合があります。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況や入構禁止等の措置を講じた場合は、評価方法を変更することがあり、評価方法を変更する場合には、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。